

支援プログラム（毎日クラス）

相模原市立児童発達支援センター ひだまり

理念	一人一人の児童が社会の一員として地域の中で健やかに育つことを目指し、児童の人権を尊重し、それぞれが持てる力を十分に発揮し、安心して生活ができるように支援します		
支援方針	<p>○睡眠や食事、排泄、医療的なケア等、日々の生活を整え、健やかな生活リズムで過ごせるよう支援します。</p> <p>○心身ともに安心できる環境の中で、遊びを通して経験を広げ自分の気持ちを表現し、コミュニケーションを楽しむ力を育てます。</p> <p>○児童の家族やその他の関係機関に対し、相談、専門的な助言その他の必要な援助を行い、児童が家庭や地域で安心して過ごせる環境を支援します。</p>		
営業時間	10時00分から15時00分まで	送迎実施の有無	なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週、または毎日の登園の積み重ねによる生活習慣や生活リズムを身に付けられるようにする。 ・身支度、食事、排泄など児のできる力に寄り添いながら、自立に向けた取り組みをする。 ・日々の体調に留意し、保護者と相談しながら活動方法を検討したり、必要な医療的ケアを行う。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・心地よい姿勢の経験を広げ、遊びを通じた自発的な動きを引き出していく。 ・福祉用具を活用した移動や、姿勢保持、運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 ・視覚、聴覚、触覚、嗅覚等へのアプローチを行い、遊びの中で様々な刺激を経験できるようにする。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団の中で様々な経験を積み重ねていく中で認知力を伸ばしていく。 ・遊びの中で空間・時間・数等の概念形成などを取り入れた活動を行う。 ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言語の形成と活用や言語の受容及び表出を促したり、手ぶりや身振りを含めた表現手段でコミュニケーションしていく促していく。 ・簡単な言葉や表現でも、自分の意思を伝えることができる環境づくりを構築する。 ・個々の自分ができる表現方法（発声、身振りなど）を大人が受け止め応答や代弁することや、自ら表現する姿を周りの大人が認めてもらえることで、相手に伝わる喜びや楽しさを感じていけるような支援を行う。 ・活動の中に相手を意識することや、感情の言語化、表現の仕方を伝え、個々に応じた表出の場面を作る。 	
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や職員との関わりの中で、表現の方法や相手とのかかわり方を知り、状況に合わせた行動で社会性や人との関わる経験の支援と向上を目指す。 ・集団で行動することや、場や物を共有する中で、対大人・対友だちとのやり取りする機会を設定し、人間関係や社会性の基礎となる経験を積めるように支援する。 	
ムーブメント	ムーブメントは、乳幼児期から学齢期に至るまでの発達に不可欠な感覚運動を通し、運動・認知・情緒・社会性などの心理的諸機能、すなわち「からだ・あたま・こころ」の全人的な発育・発達を支援し、健康と幸福感の達成にゴールを置いている。		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の困りごとや悩みごとの軽減 ・子育ての中での助言・援助 ・保護者プログラム(親子ムーブメント・懇談会・ぼかぼかタイム) 個別面談(家族支援) 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個別面談での進路相談、就学に関する情報提供 ・他事業所や保育園や幼稚園への転園の相談
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所との連携 ・地域の支援級、支援学校の見学の受け入れ ・外部機関の見学受け入れ ・保育園との交流 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援センター職員研修(新任研修・虐待防止研修・重度重複障害研修・感染症対策研修・非常時対応研修) ・その他、各専門職に対応した外部派遣研修等
主な行事等	保護者参観・音楽会・フェスティバル・防災訓練・入園式及び療育はじめて式・卒園式・プール活動・野外療育など		

支援プログラム（就園クラス）

相模原市立児童発達支援センター ひだまり

理念	一人一人の児童が社会の一員として地域の中で健やかに育つことを目指し、児童の人権を尊重し、それぞれが持てる力を十分に発揮し、安心して生活ができるように支援します		
支援方針	<p>○睡眠や食事、排泄、医療的なケア等、日々の生活を整え、健やかな生活リズムで過ごせるよう支援します。</p> <p>○心身ともに安心できる環境の中で、遊びを通して経験を広げ自分の気持ちを表現し、コミュニケーションを楽しむ力を育てます。</p> <p>○児童の家族やその他の関係機関に対し、相談、専門的な助言その他の必要な援助を行い、児童が家庭や地域で安心して過ごせる環境を支援します。</p>		
営業時間	10時00分から13時00分まで	送迎実施の有無	なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週、または毎日の登園の積み重ねによる生活習慣や生活リズムを身に付けられるようにする。 ・身支度、食事、排泄など児のできる力に寄り添いながら、自立に向けた取り組みをする。 ・日々の体調に留意し、保護者と相談しながら活動方法を検討したり、必要な医療的ケアを行う。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・心地よい姿勢の経験を広げ、遊びを通じた自発的な動きを引き出していく。 ・福祉用具を活用した移動や、姿勢保持、運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 ・視覚、聴覚、触覚、嗅覚等へのアプローチを行い、遊びの中で様々な刺激を経験できるようにする。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団の中で様々な経験を積み重ねていく中で認知力を伸ばしていく。 ・遊びの中で空間・時間・数等の概念形成などを取り入れた活動を行う。 ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言語の形成と活用や言語の受容及び表出を促したり、手ぶりや身振りを含めた表現手段でコミュニケーションしていく促していく。 ・簡単な言葉や表現でも、自分の意思を伝えることができる環境づくりを構築する。 ・個々の自分ができる表現方法（発声、身振りなど）を大人が受け止め応答や代弁することや、自ら表現する姿を周りの大人が認めてもらえることで、相手に伝わる喜びや楽しさを感じていけるような支援を行う。 ・活動の中に相手を意識することや、感情の言語化、表現の仕方を伝え、個々に応じた表出の場面を作る。 	
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や職員との関わりの中で、表現の方法や相手とのかかわり方を知り、状況に合わせた行動で社会性や人との関わる経験の支援と向上を目指す。 ・集団で行動することや、場や物を共有する中で、対大人・対友だちとのやり取りする機会を設定し、人間関係や社会性の基礎となる経験を積めるように支援する。 	
ムーブメント	ムーブメントは、乳幼児期から学齢期に至るまでの発達に不可欠な感覚運動を通し、運動・認知・情緒・社会性などの心理的諸機能、すなわち「からだ・あたま・こころ」の全人的な発育・発達を支援し、健康と幸福感の達成にゴールを置いている。		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の困りごとや悩みごとの軽減 ・子育ての中での助言・援助 ・保護者プログラム(懇談会) ・個別面談（家族支援） 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個別面談での進路相談、就学に関する情報提供 ・就園に向けた福祉サービス等の情報提供
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所との連携 ・地域の支援級、支援学校の見学の受け入れ ・外部機関の見学受け入れ ・園訪問支援 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援センター職員研修（新任研修・虐待防止研修・重度重複障害研修・感染症対策研修・非常時対応研修） ・その他、各専門職に対応した外部派遣研修等
主な行事等	<p>懇談会</p> <p>* 行事については、母園で行う。</p>		

支援プログラム（親子クラス）

相模原市立児童発達支援センター ひだまり

理念	一人一人の児童が社会の一員として地域の中で健やかに育つことを目指し、児童の人権を尊重し、それぞれが持てる力を十分に発揮し、安心して生活ができるように支援します		
支援方針	<p>○睡眠や食事、排泄、医療的なケア等、日々の生活を整え、健やかな生活リズムで過ごせるよう支援します。</p> <p>○心身ともに安心できる環境の中で、遊びを通して経験を広げ自分の気持ちを表現し、コミュニケーションを楽しむ力を育てます。</p> <p>○児童の家族やその他の関係機関に対し、相談、専門的な助言その他の必要な援助を行い、児童が家庭や地域で安心して過ごせる環境を支援します。</p>		
営業時間	10時00分から13時00分まで	送迎実施の有無	なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 毎週の登園の積み重ねによる生活習慣や生活リズムを身に付けられるようにする。 身支度、食事、排泄など児のできる力に寄り添いながら、自立に向けた取り組みをする。 日々の体調に留意し、保護者と相談しながら活動方法を検討したり、必要な医療的ケアを行う。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 心地よい姿勢の経験を広げ、遊びを通じた自発的な動きを引き出していく。 福祉用具を活用した移動や、姿勢保持、運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 視覚、聴覚、触覚、嗅覚等へのアプローチを行い、遊びの中で様々な刺激を経験できるようにする。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 小集団の中で様々な経験を積み重ねていく中で認知力を伸ばしていく。 遊びの中で空間・時間・数等の概念形成などを取り入れた活動を行う。 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言語の形成と活用や言語の受容及び表出を促したり、手ぶりや身振りを含めた表現手段でコミュニケーションしていく促していく。 簡単な言葉や表現でも、自分の意思を伝えることができる環境づくりを構築する。 個々の自分ができる表現方法（発声、身振りなど）を大人が受け止め応答や代弁することや、自ら表現する姿を周りの大人が認められることで、相手に伝わる喜びや楽しさを感じていけるような支援を行う。 活動の中に相手を意識することや、感情の言語化、表現の仕方を伝え、個々に応じた表出の場面を作る。 	
人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> 友達や職員との関わりの中で、表現の方法や相手とのかわり方を知り、状況に合わせた行動で社会性や人との関わる経験の支援と向上を目指す。 集団で行動することや、場や物を共有する中で、対大人・対友だちとのやり取りする機会を設定し、人間関係や社会性の基礎となる経験を積めるように支援する。 		
ムーブメント	ムーブメントは、乳幼児期から学齢期に至るまでの発達に不可欠な感覚運動を通し、運動・認知・情緒・社会性などの心理的諸機能、すなわち「からだ・あたま・こころ」の全人的な発育・発達を支援し、健康と幸福感の達成にゴールを置いている。		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の困りごとや悩みごとの軽減 子育ての中での助言・援助 保護者プログラム(懇談会) 個別面談（家族支援） 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 個別面談での進路相談、就学に関する情報提供 毎日クラスへの移行に向けた、困りごとや悩みごとの軽減
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 他事業所との連携 外部機関の見学受け入れ 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援センター職員研修（新任研修・虐待防止研修・重度重複障害研修・感染症対策研修・非常時対応研修） その他、各専門職に対応した外部派遣研修等
主な行事等	<p>懇談会</p> <p>*このクラスは毎日クラスや就園クラスへ移行するためのクラスであることから、療育に慣れることを中心としていく。</p>		